

高野七口學

「高野七口学」題字 弘法大師空海 筆 「聾瞽指歸」より

高野七口再生保存会

空海の入唐-長安への道-

金剛峯寺次期(第519世)寺務検校執行法印

講師：静慈圓氏 高野山大学名誉教授、高野山清涼院住職

◎ 密教のすべてを日本に伝えた弘法大師が入唐したのは、今から1214年前の804年。当時、世界最大の都市長安への想像を超える過酷な旅。そして20年を、わずか2年半に切り上げられた留学期間。

1984年、「空海・長安への道」訪中団団長として福州（赤岸鎮）から西安（青龍寺）までの2400キロの踏破と調査研究結果等から、空海の中国における足跡についてわかりやすく解説いただきます。



空海漂着の地 中国福建省赤岸鎮

日時：2月12日(月・祝) 受付13時～ 講演13時30分～14時40分

対象：会員及び一般（先着50名）

場所：金剛峯寺大師教会2階（高野町高野山347）

（例：代行バス 橋本駅～大門南駐車場～金剛峯寺前下車徒歩約3分 約1時間30分
時刻表等は南海電鉄橋本駅：0736-32-2310にお問合せください。）

申込：不要

協力金：500円（資料代等）

後援：高野山金剛峯寺

問合せ：08014340985（高野七口再生保存会事務局）